

- 本調査における「**データ**」とは、現にデジタル化されており、コンピュータが処理することができる状態のデータであり、Q18を除いて、自社の商品開発・サービス拡大や業務の効率化など自社活用のものに限ります（事業・業務として他者に提供するものは除きます）。
※例えば、他者に提供することだけを目的とした地図データや気象データ、各種データセットなどは除きます。
なおQ18ではより広く、貴社で収益につなげる取り組み全般に用いるデータについて回答をお願いします。
- 本調査におけるデータ「**分析**」とは、上記で定義された文字、数値、画像、映像などといったデータを処理し、知識を抽出する行為です。外部企業等が提供するデータ解析ツール・サービスを利用する場合も含まれますが、データの閲覧行為やコンピュータが自動的にデータを収集し、判定したりアラートを出すもの（例えば、温度が一定以上になったら警告音を出すもの）は含みません。
- 本調査におけるデータ「**活用**」とは、自社の商品開発・サービス拡大や業務の効率化などを目的とする活動で、上記で定義されたデータ分析に加え、データの閲覧行為やコンピュータが自動的にデータを収集し、判定したりアラートを出すものも含まれます。

【ご回答時の留意点】

○持株会社制について

- 持株会社制を採用している企業につきましては、持株会社単体についてのご回答ではなく、グループ内の事業会社を含めた全体の状況（困難な場合は主要な事業会社の状況）についてご回答ください。

○回答の時点について

- 本調査の回答につきましては、時点を具体的に明記していない限り、2020年3月31日時点における状況をご回答ください。

○ご回答いただく方について

- 貴社のデータ保存・活用について把握されている方にご回答いただきたく存じますが、難しい場合には適宜ご担当の方にご回答いただいても構いません。

No.	対象	設問	項目	選択肢	形式
Q1	全員	貴社では、それぞれの業務領域において、データ分析した結果を何らかの判断に用いていますか？	経営企画・バックオフィス系業務 (総務、人事、経理、財務、法務、IR等)	選択肢1：用いている 選択肢2：用いていないが、検討中 選択肢3：用いていないし、検討もしていない 選択肢4：業務領域が存在しない	単回答
			製品・サービスの企画、開発 (研究活動も含まれます)		
			マーケティング (広告・宣伝活動も含まれます)		
			生産・製造・サービス提供 (店頭やネット上での販売活動、営業活動も含まれます)		
			物流・在庫管理 (製品の運搬に係るものを含みます)		
			保守・メンテナンス・サポート (遠隔監視、カスタマーサービスも含まれます)		
Q2	Q1で1つ以上 選択肢1を 選択	貴社では、データをどのように処理したものを各領域で活用していますか？当てはまるものすべてをお答えください。 ※Q1で選択肢1を選んだ項目のみを表示 ※AI（機械学習・ディープラーニングなど人工知能技術を活用した予測等）は、物事の関係性や最適行動の分析だけではなく、データに基づく自動化や欠品・不正の判定、モニタリングなどの用途で活用している場合も含まれます。	経営企画・バックオフィス系業務	選択肢1：集計（時期別に集計、企業規模別に集計等の処理） 選択肢2：解析（統計的な分析等） 選択肢3：他社サービスを活用したA I（自社では開発やチューニングを行っていないもの） 選択肢4：自社開発のA I（自社で開発やチューニングを行っているもの）	複数回答
			製品・サービスの企画、開発		
			マーケティング		
			生産・製造・サービス提供		
			物流・在庫管理		
			保守・メンテナンス・サポート		
Q3	Q1で1つ以上 選択肢1を 選択	貴社では、データ分析をどのくらいの頻度（間隔）で行いますか？ ※Q1で選択肢1を選んだ項目のみを表示 ※複数の用途で分析をされている場合は、最も高頻度な（間隔が短い）状況をお答えください。	経営企画・バックオフィス系業務	選択肢1：1日複数回 選択肢2：1日1回 選択肢3：毎週1回程度 選択肢4：毎月1回程度 選択肢5：3か月に1回程度 選択肢6：半年に1回程度 選択肢7：1年に1回程度 選択肢8：1年以上の間隔	単回答
			製品・サービスの企画、開発		
			マーケティング		
			生産・製造・サービス提供		
			物流・在庫管理		
			保守・メンテナンス・サポート		

No.	対象	設問	項目	選択肢	形式
Q4	Q1で1つ以上選択肢1を選択	<p>貴社では、データ分析を行う際、おおよそどれくらい前に蓄積したデータまで遡って利用しますか？</p> <p>※複数の用途で分析をされている場合は、代表的な用途における状況をお答えください。</p>	A.顧客（個人）の基本データ (氏名、住所、性別等)	選択肢1：ほぼその日のデータのみ 選択肢2：1週間程度前のもので 選択肢3：1か月程度前のもので 選択肢4：3か月程度前のもので 選択肢5：約半年前のもので 選択肢6：約1年前のもので 選択肢7：約2～3年前のもので 選択肢8：約3～5年前のもので 選択肢9：5年以上前のもも含む 選択肢10：わからない 選択肢11：データを蓄積していない	単回答
			B.顧客（法人）の基本データ (企業名、住所、資本金等) ※自治体・各種団体等を含みます		
			C.顧客等とのやり取りデータ (営業日報、購買履歴、問合せ履歴、市場調査結果等)		
			D.Web上のアクションデータ (検索・アクセスログ、ロコミ・投稿データ等)		
			E.人の行動に関するデータ (生体情報、位置情報、カメラ映像等)		
			F.機械、機器、車両等の動作に関するデータ (稼働状況、位置情報、速度等)		
			G.自然・公共由来のデータ (地図情報、気象情報等)		
Q5	Q1で1つ以上選択肢1を選択かつQ4いずれかの項目で選択肢1～10を選択	<p>貴社では、それぞれの領域においてデータ分析をする際にどのようなデータを用いていますか？</p> <p>※Q1で選択肢1を選んだ項目のみを表示 ※Q4で選択肢11以外を選んだ項目のみを選択肢として表示</p>	経営企画・バックオフィス系業務	選択肢1：A.顧客（個人）の基本データ (氏名、住所、性別等) 選択肢2：B.顧客（法人）の基本データ (企業名、住所、資本金等) 選択肢3：C.顧客等とのやり取りデータ（営業日報、購買履歴、問合せ履歴、市場調査結果等） 選択肢4：D.Web上のアクションデータ（検索・アクセスログ、ロコミ・投稿データ等） 選択肢5：E.人の行動に関するデータ（生体情報、位置情報、カメラ映像等） 選択肢6：F.機械、機器、車両等の動作に関するデータ（稼働状況、位置情報、速度等） 選択肢7：G.自然・公共由来のデータ（地図情報、気象情報等） 選択肢8：上記のいずれのデータも用いていない（排他制御）	複数回答
			製品・サービスの企画、開発		
			マーケティング		
			生産・製造・サービス提供		
			物流・在庫管理		
			保守・メンテナンス・サポート		

No.	対象	設問	項目	選択肢	形式
Q6	Q1で1つ以上 選択肢1を選択	<p>貴社で活用しているデータについて、2019年度末時点における容量の総計をお答えください。 また、2019年度の1年間でどの程度増減したかお答えください（減少した場合はマイナスでご記入ください）。 数値の算出方法等につきましても記述をお願いいたします（任意）。</p> <p>※本調査における「活用」の定義に従い、単に自社が管理するデータセンター等に他社データを保存しているものなどは除きます。 ※正確な値を把握されていない場合は、大よその値（例：10TB、100TB、1000TB）で構いません。 ※「2019年度末時点の容量」は半角数字（0以上の整数または小数）、「2019年度1年間で増減の容量」は半角数字（整数または小数）でお答えください。 ※下記を一つの目安にしてください。 ・動画ファイル1分12MB：約1400時間で1TB ・写真ファイル1枚2.5MB：約40万枚で1TB ・Wordファイル1ページ10KB：約1億ページで1TB</p>	-	2019年度末時点 [] TB 2019年度1年間で増減 [] TB 算出方法等 []（任意）	記入

No.	対象	設問	項目	選択肢	形式
Q7	Q1で1つ以上選択肢1を選択かつQ4いずれかの項目で選択肢1~10を選択	<p>貴社で活用しているデータのうち、それぞれの容量割合はおよそどれくらいですか？合計が100%になるようにお答えください。</p> <p>※Q4で選択肢11以外を選んだ項目の入力欄のみを表示 ※半角数字（正の整数または小数点第一位まで）でお答えください。</p>	-	<p>A.顧客（個人）の基本データ []%</p> <p>B.顧客（法人）の基本データ []%</p> <p>C.顧客等とのやり取りデータ []%</p> <p>D.Web上のアクションデータ []%</p> <p>E.人の行動に関するデータ []%</p> <p>F.機械、機器、車両等の動作に関するデータ []%</p> <p>G.自然・公共由来のデータ []%</p>	記入
Q8	Q1で1つ以上選択肢1を選択	<p>貴社で活用しているデータのうち、1年間（2019年度）に新たに外部から提供されたものはありますか。あれば入手元の種類、国内・国外、有償・無償別に、当てはまるものをすべてお答えください。</p>	-	<p>選択肢1：国内のデータ販売会社（調査会社、データベース販売会社、API経由等）のものを有償で利用</p> <p>選択肢2：海外のデータ販売会社（調査会社、データベース販売会社、API経由等）のものを有償で利用</p> <p>選択肢3：国内のデータ販売会社（調査会社、データベース販売会社、API経由等）のものを無償で利用</p> <p>選択肢4：海外のデータ販売会社（調査会社、データベース販売会社、API経由等）のものを無償で利用</p> <p>選択肢5：国内の取引先・連携先などが保有するものを有償で利用</p> <p>選択肢6：海外の取引先・連携先などが保有するものを有償で利用</p> <p>選択肢7：国内の取引先・連携先などが保有するものを無償で利用</p> <p>選択肢8：海外の取引先・連携先などが保有するものを無償で利用</p> <p>選択肢9：国内の公的機関から提供されるものを有償で利用</p> <p>選択肢10：海外の公的機関から提供されるものを有償で利用</p> <p>選択肢11：国内の公的機関から提供されるものを無償で利用</p> <p>選択肢12：海外の公的機関から提供されるものを無償で利用</p> <p>選択肢13：外部のデータは利用していない（排他制御）</p>	複数回答
Q9	Q8で選択肢1,2,5,6,9,10のいずれかを選択	<p>先の設問Q8で示した、外部から提供されたものに対して、貴社では1年間（2019年度）にどれだけ支出をしましたか。総額を万円の単位でお答えください。</p> <p>※正確な値を把握されていない場合は、大よその値（例：100万円、1000万円）で構いません。 ※半角数字（正の整数）でお答えください。</p>	-	[]万円	記入

No.	対象	設問	項目	選択肢	形式
Q10	Q8で 選択肢13 以外を 選択かつ Q4いずれか の項目で 選択肢 1~10を 選択	貴社で活用しているデータについて、先の設問Q8 で示した、外部から提供されたものはどのくらいの 容量割合を占めますか。 ※把握されていない場合は、ご自身が把握されている範 囲のデータについて感覚的なお答えで構いません。 ※他社からデータを一時的に預かり分析結果を納品す るような場合のデータは含みません。 ※Q4で選択肢11以外を選んだ項目のみを表示	A.顧客（個人）の基本データ （氏名、住所、性別等）	選択肢1：0% 選択肢2：5%未満 選択肢3：5%以上10%未満 選択肢4：10%以上20%未満 選択肢5：20%以上30%未満 選択肢6：30%以上40%未満 選択肢7：40%以上50%未満 選択肢8：50%以上60%未満 選択肢9：60%以上70%未満 選択肢10：70%以上80%未満 選択肢11：80%以上90%未満 選択肢12：90%以上	単回答
			B.顧客（法人）の基本データ （企業名、住所、資本金等） ※自治体・各種団体等を含みます		
			C.顧客等とのやり取りデータ （営業日報、購買履歴、問合せ履歴、 市場調査結果等）		
			D.Web上のアクションデータ （検索・アクセスログ、ロコミ・投稿データ 等）		
			E.人の行動に関するデータ （生体情報、位置情報、カメラ映像等）		
			F.機械、機器、車両等の動作に関 するデータ （稼働状況、位置情報、速度等）		
			G.自然・公共由来のデータ （地図情報、気象情報等）		

No.	対象	設問	項目	選択肢	形式
Q11	Q1で1つ以上 選択肢1を選択	貴社では、データ活用を主導する責任者（CIO、CDOなど）はいますか？	-	選択肢1：専任の責任者がいる（データ活用を含むデジタル領域全体を所管している場合も含みます） 選択肢2：兼任の責任者がいる（デジタル領域以外も所管している場合） 選択肢3：いない	単回答
Q12	Q1で1つ以上 選択肢1を選択	貴社では、データ活用ができるどのような環境を構築していますか？ ※データの種類によって異なる場合は、代表的な環境についてお答えください。	-	選択肢1：全社的にデータ活用ができる環境を構築 選択肢2：複数の部署内でデータ活用ができる環境を構築 選択肢3：単一部署内でのみデータ活用ができる環境を構築 選択肢4：特定業務でのみデータ活用ができる環境を構築	単回答
Q13	Q1で1つ以上 選択肢1を選択	貴社がデータ分析を行う際、どのような体制（部署・担当者）で分析（外部企業等が提供しているデータ解析ツール・サービスの利用も含みます）を行いますか？	-	選択肢1：データ分析を行う専門部署の担当者 選択肢2：各事業部門のデータ分析専門の担当者 選択肢3：各事業部門のデータ分析が専門ではない人 選択肢4：外部に委託 選択肢5：アライアンスやコンソーシアムなど他社等を交えた共同分析 選択肢6：その他[]	複数回答
Q14	Q1で1つ以上 選択肢1を選択	貴社で、データ分析を主な業務とする従業員（正社員だけではなく、パートタイマー・アルバイト・契約社員・派遣社員等を含みます）はおおよそ何人くらいいますか？ ※半角数字（正の整数）でお答えください。	-	[]人	記述

No.	対象	設問	項目	選択肢	形式
Q15	Q1で1つ以上選択肢1を選択	貴社では、それぞれの領域でデータを活用することによって、2019年度には投入面（業務効率化による費用削減等）でどのくらい効果がありましたか？ ※ご自身が把握されている範囲について感覚的なお答えで構いません。 ※Q1で選択肢1を選んだ項目のみを表示	経営企画・バックオフィス系業務	選択肢1：非常に効果があった 選択肢2：多少効果があった 選択肢3：どちらでもない 選択肢4：あまり効果がなかった 選択肢5：全く効果がなかった	単回答
			製品・サービスの企画、開発		
			マーケティング		
			生産・製造・サービス提供		
			物流・在庫管理		
			保守・メンテナンス・サポート		
Q16	Q1で1つ以上選択肢1を選択	貴社では、それぞれの領域でデータを活用することによって、2019年度には産出面（売上高増加等）でどのくらい効果がありましたか？ ※ご自身が把握されている範囲について感覚的なお答えで構いません。 ※Q1で選択肢1を選んだ項目のみを表示	経営企画・バックオフィス系業務	選択肢1：非常に効果があった 選択肢2：多少効果があった 選択肢3：どちらでもない 選択肢4：あまり効果がなかった 選択肢5：全く効果がなかった	単回答
			製品・サービスの企画、開発		
			マーケティング		
			生産・製造・サービス提供		
			物流・在庫管理		
			保守・メンテナンス・サポート		
Q17	全員	新型コロナウイルス感染症の影響により、貴社の経営等にどのような影響（変化）がありましたか？ 2019年度と比べて2020年度がどのように変化したかをお答えください。 ※2020年度につきましては見込みで構いません。	売上高	選択肢1：50%以上減少 選択肢2：30%以上～50%未満減少 選択肢3：10%以上～30%未満減少 選択肢4：5%以上～10%未満減少 選択肢5：1%以上～5%未満減少 選択肢6：不変（±1%） 選択肢7：1%以上～5%未満増加 選択肢8：5%以上～10%未満増加 選択肢9：10%以上～30%未満増加 選択肢10：30%以上～50%未満増加 選択肢11：50%以上～100%未満増加 選択肢12：100%以上増加（2倍以上増加）	単回答
			ICTハードウェア投資		
			ICTソフトウェア投資		
			クラウドサービス支出		
			データ活用に関連する投資・支出 (データの購入やデータ収集を目的としたシステム構築費、データ分析ツール・サービス、セキュリティ対策、データ活用に関連する外部委託費などを含みます)		

No.	対象	設問	項目	選択肢	形式
Q18	全員	<p>貴社では、データを収益につなげる取り組みとして、どのようなものを手がけていますか？</p> <p>※取り組みの成果有無には関わらず、行っている取り組みをお答えください。</p>	-	選択肢1：データの販売またはライセンス供与 選択肢2：データ関連製品・サービス（データ管理ソフト、データ分析ソフト、データ活用コンサルティング等）の販売・提供 選択肢3：データを活用した既存の製品・サービスの改善 選択肢4：データを活用した生産能力やビジネス効率の向上（生産工程、在庫管理、マーケティング等でのデータ活用） 選択肢5：データを活用した自部門における業務効率化やパフォーマンスの向上 選択肢6：上記のいずれも行っていない（排他制御）	複数回答
Q19	全員	<p>貴社の代表的な製品・サービスを投入している市場において、2019年度末時点で、貴社と競合する企業は国内外合わせて何社程度ありましたか？</p>	-	選択肢1：0社 選択肢2：1～2社 選択肢3：3～5社 選択肢4：6～10社 選択肢5：11～20社 選択肢6：21社以上	単回答
Q20	Q1で1つ以上 選択肢1を選択	<p>貴社では、どのような目的でデータ活用に取り組んでいますか？自由にお答えください。</p>	-	[]（任意）	自由記述
Q21	全員	<p>貴社では、データ活用に関連してどのような課題をお持ちですか？ 人材・スキル・システム・データ不足といった組織内の課題やデータの外部共有に関する障壁など自由にお答えください。</p>	-	[]（任意）	自由記述